

Que Será, Será

VOL.81
2015
SUMMER



車山高原 北アルプスを一部遠望できる

3か月のゲーテ学院でのドイツ語研修が終わった1972年の暮れ妻と娘と息子がミュンヘンに来て、やっと落ち着いた生活が始まった。ドイツ語研修は終えたが、私のドイツ語会話はまだ心もとなくさらに勉強をする必要があった。私は名案を思い付いた。ミュンヘン大学のメンザ(学生食堂)にある伝言板に「日本語教えます。ドイツ語を教えてください」と書いた紙を張ってきた。1週間もしないうちに電話がかかった。彼の名はEnno von Tautophaus。私と同じ年齢のドイツ人で大きな保険会社に入社したての男性であった。彼の母は戦争未亡人で米兵と再婚し、駐留軍勤務の父と共に日本に数年間滞在した

ことがあった。彼は日本語が話せるという触れ込みで世界中に支社のある大会社に就職できたが、日本語に自信がなく、私のところに躍り込んできた。Ennoは片言の日本語は話せるが、私のドイツ語の方がまだましであった。その理由は後になって判明した。日本滞在中、彼は上智大学の英語クラスに通い日本語はほとんど使っていなかったからであった。お互いに相手の国の言葉に熟達する必要がある二人はすぐ仲良くなった。毎週金曜日の夜に彼が我が家を訪問し、ドイツ語・日本語ちゃんぽんの会話が弾んだ。途中で彼の女友達Barbaraが同伴するようになった。彼との付き合いで私のドイツ語の進歩はそれ程ではなかったが、し



医療法人 和楽会 理事長 貝谷久宣

不安のない生活——(26)ミュンヘンの思い出 その4

不安のない生活—(26) ミュンヘンの思い出 その4



カブト虫に乗る娘と息子 (1973年)



パワーハウスのおじさんの運転で草刈り機に乗る Enno と娘 (1973年)

かし、仕事以外で地元の人と気楽に付き合いができるのは結構重宝なことであった。当初私の車は、山田通夫先生(現在山口大学名誉教授)から譲り受けた古い旧式フォルクスワーゲン(カブト虫)であった。雨が少し強くなると天井からしずくが垂れたり、バッテリーが上がってしまい数人で後ろから押して助走させエンジンをかけることが必要だったりの今ときには考えられないポンコツ車に乗っていた。ついにたまりかねて、

新車を買うことになった。どうせ買うなら頑丈で長持ちし、日本に持って帰ることのできる車が良いということ、スウェーデン車ボルボに決めた。貧乏留学生の分際で少し高い買い物をするので Enno が心配しているいろいろ調べてくれた。ミュンヘンにおいてボルボに乗りたければオーストリア・シリングで買い、車検はスイスでツーリストナンバーを受けるのが一番経済的だと教えてくれた。私たち二人はすぐ旅に出た。ドイツ

の国境に近いオーストリアの田舎町まで電車で行き、そこで車を買ってチューリッヒまでドライブする一泊二日の日程であった。わたしはチューリッヒの宿で彼の勧めで初めてレバーケーゼを口にし、安くてうまいことに感嘆した。チューリッヒのナンバープレートは地元の王家の紋章が入って気が利いており、オレンジ色のボルボによく釣り合ったので私は有頂天でミュンヘンに帰った。

Enno は美術や自然を愛するグループで、週末には Enno の恋人 Jani をはじめ Barbara ら男女7、8人でチロルの古いパワーハウス(百姓家)を一軒借りていた。私たち一家もそこへ同伴したことがあった。大家のお百姓さんは隣に新しい家を作り、その借りた古家は家畜用倉庫となっていた。最も驚いたのはトイレで、2階から1階まで引力で処理する方式であった。

Enno は美術や自然を愛するグループで、週末には Enno の恋人 Jani をはじめ Barbara ら男女7、8人でチロルの古いパワーハウス(百姓家)を一軒借りていた。私たち一家もそこへ同伴したことがあった。大家のお百姓さんは隣に新しい家を作り、その

また、部屋に充実した牛の飼料用の乾草をベッドにして横になると香しく暖かくとても気持ちよかった。夜の食事は大きなサヤエンドウとベーコンをお湯で煮詰めるだけの簡単な料理で、あとはパンとワインというお決まりのドイツ式であった。彼らは実におしゃべりが好きで夜更けまで宴は続いた。

Enno は Von のつく家柄の出身で、本当に親切なナイスガイであった。私のミュンヘン生活をとても楽しいものにしてくれた恩人である。帰国後、私は彼を2回訪問している。最後に会った時には定年退職しており、大富豪の娘と結婚し、マンションの広々としたペン트ハウスに大家として余生を楽しんでいた。



妻が描いたオーストリアのパワーハウス

遊ぶ (1)

医療法人 和楽会
なごやメンタルクリニック院長
原 井 宏 明

人とは何か？

自我が芽生える思春期以降に、たいいていの人がある疑問をもったことがあるでしょう。「われわれはどこから来たのかわれわれは何者かわれわれはどこへ行くのか」ゴーギャンはこんなタイトルの絵を描いた後、自殺を図ります(未遂に終わりました)。哲学者や宗教者はかならずと云って良いほどこの話題を取り上げます。人間性心理学のマズローや個人心理学のアドラーのように答えはこうだ！と教えてくれている学者もいます。

中には、こんな風に答えた人も。

人間は、言葉の十分な意味において人間であるときのみ、遊ぶ。また、人間は、遊ぶときのみ、完全に人間なのだ。(フリードリッヒ・シラー、「人間の美的教育について」)

人とは何かを四角四面に考えることが問題なのかもしれない。人の本質は真面目さではない、遊びだ！と云い出した人がいます。オランダの歴史学者、ヨハン・ホイジンガです。彼は「ホモ・ルーデンス」¹遊ぶ人というタイトルの本を出し、その主張は、遊びによって全ての人間行動が説明できるとする「遊び一元論」です。遊びとは、あるはつきり定められた時間、空間の範囲内で行われる自発的な行為や活動です。それは本人が自発的に受け入れた規則に従っていて、その規則はいったん受け入れられた以上は、絶対的拘束力をもつています。遊びの目的は行為そのもののなかにあり、何かの他の目的を達成するための手段ではありません。遊びには緊張と喜びの感情を伴っていて、「日常生活」とは「別のもの」として意識されています。あなたは最近、遊んでいいますか？

子どもは遊びが仕事です。言葉を覚えたばかりの子どもは「マンマ」など最初は要求を伝えるために言葉を使いますが、そのうちに言葉で遊びはじめます。2歳ぐらいの子どもに「これは、ウンコよ」と教えたなら、まったく無関係の場所で「ウンコ」「ウンコ」と言い出すようになり、親や周囲が当惑するような場面を経験した方は多いでしょう。周りが困った顔をするのが面白くて、子どもが覚えたばかりの言葉を使って大人を振り回します。

ロシアの子どもたちはこんな歌をうたって遊ぶそうです。

カエルがお空を飛んでつた
サカナが漁師のお膝に座つた
ネズミが猫を捕まえて
ネズミトリの中に閉じ込めた

オクシモロン

こうした遊びにもレッキとした名前があります。「カエルがお空を飛んでつた」のように明らかに矛盾する言葉を組み合わせることを撞着語法、オクシモロンと呼びます。

「新新聞紙」「竹藪焼けた」のように上から読んでも下から読んでも同じ言葉になるものです。

他の言葉遊び

有名なものには回文があります。「新新聞紙」「竹藪焼けた」のように上から読んでも下から読んでも同じ言葉になるものです。

保安院全員アホ
神主も死ぬんか？
セクハラは癖

根暗は楽ね
禁煙延期

回文を作るコツがあります。最初に、思いついた単語をとりあえずひっくり返してみましよう。たとえば「新幹線」をひっくりかえすと、「んせんかんし」。これに一つ文字を加えてみて意味のある単語になるかどうか考えてみます。あいうえお…、えを加えると「沿線監視」になります。「新幹線沿線監視」とできあがりです。「トマト」のように単語一つで回文になっているものを見つけて、それらを組み合わせるという手もあります。ぜひトライしてみてください。



(原井宏明略歴)
一九五九年京都生まれ。一九八四年岐阜大学医学部卒業。神戸大学精神科、国立肥前療養所(現、肥前精神医療センター)、国立菊池病院臨床研究部長、診療部長を経て、二〇〇八年一月から、なごやメンタルクリニック院長。日本行動療法学会認定専門行動療法士、動物つけ面接トレーナー。

「うつ」の診断について

医療法人 和楽会 横浜クリニック院長 海老澤 尚

当院にはいわゆる「うつ」の方も多く通院しておられます。仕事や学業・家事に支障が生じた方、休まざるを得なくなった方もおられます。「いわゆる『うつ』』という言い回しをしたのは、日常会話で使われている「うつ」という言葉が、医学的診断名の「うつ病」が指すものと重なってはいませんが、同じではないからです。「うつ状態」「抑うつ状態」という言葉も、「現在気分がうつ状態にある」という現象を指しているだけで、「うつ病」と同じではありません。

「うつ」「うつ状態」「抑うつ状態」の原因には様々なものがあり、そのうちの代表的なものの一つがうつ病なのです。

「うつ」という、日常的な気分の状態を描写するために使われる言葉のまま病名に取り入れたため、疾患の特徴は理解しやすいため、混乱しやすくなつた面もあります。「誰でも落ち込むことくらいある、うつ病は病気ではない、気合で治せ」という誤解(このように考える方は現在では少ないと思います)は、誰にでもある日常的な一過性の気分の落ち込みと、うつ病という疾患とを同一視しているために生じるのではないかと思います。確かに境界があいまいな場合もありますが、就労・家事・勉強などの日常・社会生活に長期間支障が出るほどのうつ病と、日常的な気分の落ち込みとは区別されるべきでしょう。

「うつ」「うつ状態」の場合、その原因によって対処法が異なる場合があるので、注意深い診断が重要です。「腹痛」という現象があっても、その原因疾患は炎症・潰瘍・腫瘍・寄生虫・感染症など様々であり、その原因によって治療法が異なるのと同様です。

「うつ」が出現する疾患で代表的なものには、うつ病、双極性障害などがあります。統合失調症の経過中に生じることもあります。

うつ病の場合も双極性障害の場合も、「うつ」の時には、気分が落ち込んだり、元気がない状態に陥ることを通じていた仕事・家事・勉強、スポーツ、読書、テレビ鑑賞、友人付き合いなどを楽しいと思えなくなったり、いつも通りこなせなくなったり、疲労を感じる、意欲がなくなる、思考や会話のスピードが落ちる、無口になる、イライラする、物事を決められない、周囲に申し訳ないと思う、自殺を考える、眠れない、食欲がわかない、などの症状も出現します。便秘・下痢、性欲減退、めまい、頭痛・頭重感、体の痛みなど身体の症状を伴うことも少なくありません。気分の落ち込みはあまり自

「うつ」の症状

覚しないが、いつも行っている活動に興味を失ったり、倦怠感を感じて「体が重くて動けない」と感じることもあります。

DSM診断基準

DSM-5(米国精神医学会診断ガイドライン)の最新バージョン)ではこれらの症状が2週間以上続いた場合にうつ病と診断するとしています。なぜ2週間「以上」なのかというと、シロクなことや悲しい出来事があった後に気分が落ち込んで活動性が低下し、その後短期間で回復することは誰にでもある普通のことと考えられるからです。ただし、1週間でも10日間でも3週間でもなく、なぜ「2週間」で線を引くのかという点については、明確な根拠に乏しいようです。1週間では「一時的な気分の落ち込み」も多く含まれてしまうでしょうし、1か月にすると、診断基準を厳格に適用した場合「うつ状態」が3週間続いているが、まだうつ病の診断基準に達していないので治療を始められない「こと」になりかねないからでしょう。もちろんこのような「頭の固い」DSM診断基準の運用は、作成者たちの本意ではないでしょうが、DSM診断基準は、どの治療法がより有効性が高いのか、疾患の原因は何なのかなどを調べる研究にも用いられます。ある治療法は「うつ」が2週間続いた被

験者に用いられ、別の治療法は「うつ」が4週間続いた被験者に用いられた場合、効果に差があってもどちらの治療法が有効か比較するのは困難になりますので、このような「割り切った線引き」も必要なのです。

世界中の診療、研究で用いられる診断基準なのに、大ざっぱに思いませんか?糖尿病での血糖値、高血圧での血圧のように明快な基準はないのでしょうか?残念ながら現在存在しません。むしろそのようなはつきりした基準がない中で、世界中の精神科医が、同じ病名ならば同様の疾患を想定できるような作られたのがDSMです(精神科領域では、WHOによる国際疾病分類ICDもDSMとほぼ同様の考え方で作成されています)。ですから、今後うつ病や双極性障害の原因が判明したら、診断基準も変わることでしょう。現在は同じうつ病として診断されている疾患が、異なる疾患に分類されていくかもしれませんし、現在違う病名がついていても共通のメカニズムが明らかになってくる場合もあるでしょう。現在のDSM診断が曖昧でいい加減なものに見えてきますが、少なくとも現在の精神医学の到達点では、日本の、そして世界の精神科医が同じ病名ならば同様の疾患を想定できるようなベストを尽くしている

のがDSMなのです。従ってDSM基準は重要ですが、万能ではなく、批判もあります。(英国の首相だったチャールは「民主主義は最悪の政治形態といえる。今までに試された他の全ての政治形態を除いては」と言ったそうですが、DSMという診断基準も同じようなことが言えるかもしれません。ちよつと言い過ぎかな?)



〈海老澤尚略歴〉

- 一九八四年 東京大学医学部医学科卒業
- 一九八六年 東京大学医学部附属病院医員(精神神経科)
- 一九八九年 (財)東京都神経科学総合研究所 流動研究員
- 一九九二年 米國ハーバード大学医学部リサーチフェロー
- 一九九七年 埼玉医科大学講師(神経精神医学教室)
- 二〇〇四年 東京大学大学院医学系研究科 客員准教授
- 二〇〇七年 東京警察病院神経科部長
- 二〇一三年 メディカルケア虎ノ門副院長
- 二〇一五年三月より 横浜クリニック院長

◆ドクターヨシダの一口コラム(46)◆ 『嫌われる勇気』の紹介 —その2—

医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック院長

吉田 栄治

前回に引き続き、『嫌われる勇気』という本についてももう少し紹介したいと思います。この本は、過去のトラウマなどの原因によって今の症状があるというフロイト的な「原因論」を否定し、いま現在のこの症状は何らかの目的があつて存在しているという「目的論」の立場に立つアドラー心理学について述べられた本でした。アドラー心理学を信奉する哲人と、人生に悩みを抱く青年の対話という形で物語はすすんでいくのでした。

アドラーの「目的論」をカウンセリングに応用していこうとする場合には、安易な意味づけは厳に慎みながら、相談者とともに症状の持つ意味というものをしっかりと掘り下げていく、その上で、その症状の持つ「目的」というか「意味」というものにどう対処していくか、というスタンスが必要であろうと思えます。

アドラー心理学について、私も若かりし頃、いくつか本を読みまして、なるほど…と感化される

しかし今回、この『嫌われる勇気』を読んで、アドラー心理学をもう一度あらためて見直してみようという気持ちになりました。この本は、大変わかりやすくアドラー心理学の神髄について書かれていると思います。

診療での活用は、なかなかむずかしい面があるなど感じていました。何らかの「目的」があつて症状が作り出されているという考え方は、周囲の者からしてみると、ともすれば一種の仮病なのかという発想につながってしまう場合があります。少々危険な一面を含みます。ですから、この本の中でも哲人は、種々の症状は決して仮病ではないということ、本人が感じている不安や恐怖は本物なのだということを強調しています。

『嫌われる勇気』の内容については大筋を前回のケセラセラでご紹介しましたので、骨子の部分については、そちらを讀んでいただければと思いますが、今回は、その続きということで、なるほど…と、うならされたところを、少しご紹介しておきたいと思えます。

怒りの感情

アドラーの「目的論」という立場から、「人は怒りを捏造する」という議論が出てくるのですが、これには少々あっけにとられました。哲人によれば、人は

怒りに駆られて怒鳴るのではなく、大声を出すために怒るというのです。一瞬のことではあります。人は怒りの気持ちがわいて怒鳴るのではなく、大声を出すことによって相手を屈服させ自分の言うことに従わせたいという目的が先にあり、その手段として怒りの感情を捏造するというのです。

哲人は、娘と大声で口論していた母親が、突然電話のベルが鳴って、その電話に出たところ学校の先生だったというような場合、怒りの感情をすぐに引つ込めることができるという例をあげて、怒りとは出し入れ可能な「道具」であると説明します。

人は、大声で相手を威圧して、それによって自分の主張を押し通すために、怒りの感情を使うというのです。この本の別の箇所では、よく怒る人は相手を屈服させることによって自らの力を証明しようとする「権力争い」を挑んでいるのだとも、説明されます。

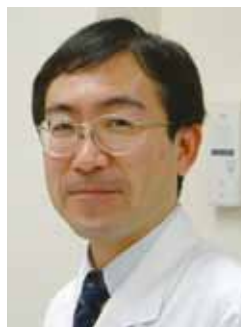
対人関係の悩み、競争、劣等感

哲人はさらに、すべての悩みは「対人関係の悩み」であると断言し、対人関係の軸に「競争」がある限り、人は人間関係の悩みから逃れられず、不幸から逃れ

ることができないと説きます。なぜなら競争(権力争い)の先には勝者と敗者がいて、人間関係に勝ち負けを意識していると、必然的に生まれてくるのが劣等感で、いつの間にか他者全般のことを、ひいては世界のことを「敵」だと見なすようになるというわけです。そして、競争の恐ろしさは、たとえ勝ち続けていようと、競争のなかに身を置いていては限り、心の安まる暇はさとしません。「権力争い」を続ける限り、勝つても負けても心が安まることはない、そして負けた側は次の段階として「復讐の段階」に突入してしまい、なにかしらの報復行為にいたり、「権力争い」は終わることがないというのです。ですからこの競争(権力争い)の図式から降りることが肝心だと哲人は説きます。人生は他者との競争ではない、だから、誰とも競争することなく、より良い自分を目指して、ただ前を向いて歩いていけばいいのだと、哲人は、勇気づけてくれます。

そして、この競争の図式から降りることができて、自分の対人関係を「競争」の軸で考えなくなったら、まわりの人々は「仲間」と呼べる存在になつていき、いろいろな不安や恐怖から解放されていくだろうと、哲人は説きます。まわりの人々が「仲間」と呼べる存在になれば、もはや怒りの感情で相手を屈服させる必要もなくなるわけです。

今回は、『嫌われる勇気』の中に書かれていた「怒りの感情」や「対人関係の悩み」や「権力争い」といったあたりの内容について、少し言葉を変えて紹介をしました。興味を持たれた方は、実際に本をとって読んでみていただくとよいかと思います。この本からはまだまだご紹介したい言葉がいくつかあり、次回も、もう少しこの本の内容の紹介を続けたいと思います。



吉田栄治略歴

一九五九年生まれ。
一九八四年防衛医科大学校医学部
医学科卒業。自衛隊中央病院第一
精神科、自衛隊岐阜病院精神科、
自衛隊仙台病院初代精神科部長を
経て、二〇〇三年九月より心療内
科・神経科 赤坂クリニック院長。

病(やまい)と詩(うた)【35】 — ウィリアム・S・クラーク先生(5) —

東京大学名誉教授

大井 玄

農科大学から洋上大学へ

クラークは1877年6月初めサンフランシスコに着き、観光や視察の後アマーストに帰ったのは7月末だった。その時マサチューセッツ農科大学は財政問題のため危機的状態にあった。

彼が日本に来る前すでに累積赤字は2万ドルに達していたが、いまや年間赤字は5千ドルにのぼり、手形の裏書きをした理事に返却すべき2万ドルもあった。教授の給料はボストンの高校や師範学校の校長給与を下回っていた。彼は、新聞による大学の誹謗と誤った報道があるかぎり、教育目的と手段を一般の人に理解してもらえないし、入学希望者は増えないと憤っている。

1978年から79年にかけてはクラークの農科大学での最後の学年度だが、大学の財政危機はいよいよ深刻になっていた。その大切な時期78年十月末に、彼は79年五月一日から80年九月一日までの休暇を理事会に申請している。その理由は、ある洋上大学の学長に奉職するというものだった。理事会は、「学長不在は大学の運営に支障をきたす」という当然と思われる理由

でこれを却下した。

ところが十一月月上旬、アマースト・レコード紙は、クラーク学長は洋上大学の学長となり世界一周航海に出る間、農科大学を留守にすること、さらに洋上大学の立案企画の実業家ジェイムス・ウッドラフが「まことに高額な報酬についての細目を取り決めるため」アマーストに来た旨を報じている。また休暇申請を断られたクラークはほどなくして辞表を提出し、翌年一月理事会はそれを受理した。その決議文には「十二年間学長の職にあったウィリアム・エス・クラーク大佐が、この度さらに好ましく願わしい地位を求め学長の職を辞されたゆえに(中略)受理した」とあるが、その裏には新聞論調が好意的でなかった事情もある。新聞が敵対的であるのは、州立の高等教育機関としてはその存亡にかかわることだった。

クラークは日本滞在中、この国では無責任な新聞に煩わされなくて良い旨の手紙を妻に書いているが、当時、ボストン・グロブ紙に、大学から支給される俸給と日本から支給される俸給の金額のことで、匿名の攻撃の手紙が載り、これをアマースト・レコード新聞が転載している。

しかし、そのような誹謗と比較にならない激しい批判が別方面からもやってきた。1878年十一月二十六日ボストンでマサチューセッツ農科大学同窓会の臨時総会が開かれ、五名からなる委員会を設け、大学運営に関する検討を行い、理事会にその評価と提言を行うことを決議した。

同委員会は1879年一月十三日、クラークの辞表が受理された数日後、大学理事会に評価報告と勧告を提出しているが、それは彼の大学運営、教育方針に対する痛烈な批判であった。

勧告の第一は財政問題の処理についてであり、問題の原因は「管理運営の失態」にあるとし、「本教育機関は現在の予算内で運営が可能であり、また、当然そうすべきである」と結論している。これに基づき、学長の俸給は現在経常費の三分の一に当たっているが、それを約半分に減らすこと、「精神道徳論」の講義を廃止すること、学外講師担当の科目を廃止することなど六項目の提言を行っている。

教育課程についても、農業の技術専門学校として特化すべきだと勧告している。農業と機械技術を教えるとしても、マサチューセッツ農科大学が基本的には一般教育の大学であるべきだ、とのクラークの教育理念を、これは真つ向から否定するものだった。

クラークはこれに対し、長文の手紙で激しく反論した。それを掲載したアマースト・レコード紙の論説は、十一月二十六日の同窓会臨時総会には、150名の同窓生のうち僅か20名しか出席せず、そこで報告書作成の決議をしたのだから、そもそも同窓会全体の意志を代表するものではない、と指摘している。

洋上大学の世界周遊航路には、日本やヨーロッパも含まれており、クラークにとつて、さぞかし魅力があつたらう。しかしこの企画は応募者が目標数に達しなかったことで、1879年五月八日クラークの正式な大学退職のわずか七日後、中止する旨の発表がニューヨーク・タイムズ紙に載った。またその後、立案・出資者のウッドラフが急死するという悲劇もあり、洋上大学の夢は潰えた。

クラーク・ボスウェル会社

クラーク自身もこの急坂

を転げ落ちるような、あつけない失敗によつてその活動的な生涯に幕を下ろすことになる。

1881年三月、ウォール街の一角に発足した会社は鉾山を管理経営し、鉾山株の売買を扱うものであった。この会社は、シニアな共同経営者たるクラークに束の間相当の大金をつかませ、多くの投資家に「金びか時代」の夢をいだかせたが、設立後十五か月もたたぬうちに破産した。

彼は、学生のころから地質学に興味を持ち、鉾物の発掘で学資の一部を賄った。しかも金儲けの野心があるのだから、鉾山関係の投機事業に手を出すのに心理的必然性があつたのかもしれない。日本からの帰途、カリフォルニアの鉾山を見て回り大いに感ずるところもあつた。

しかし、彼は学者教師としては優れていたが、大学の財政破綻にみられるように、金銭的経営管理の能力はなかった。そういう人間が事業を成功させるために、堅実に経理責任を負える信頼できるパートナーの存在が必要条件になる。しかしクラークはジョン・ボスウェルといういかさま師と手を組んだ。学者馬鹿といわれてもしょうが

ない。また一攫千金の野心を抱いていたとすれば、目が見える
と錯覚した盲目者である。

ボスウェルはアイオワ州出身で、南北戦争後1870年コロラド準州で補給部中尉として勤務していたが、軍法会議で有罪判決を受けた。政府への支払請求書偽造と国家の金を背任横領し、さらに紳士としてあるまじき行為を行ったことが問われた。罷免されただけでなく、その氏名、住所、刑が広く公表された。その後地方新聞に勤めたりしたのち、1871年シカゴに移りシカゴ・タイムズの記者をしていた時、賭博に手をだし、その賭博が発覚し、新聞社を首になった。その後シカゴからセントルイス、ボルチモアなどを転々とした挙句、ニューヨーク市に落ち着き、鉱山関係の「日刊鉱業新聞」を発行する。同紙を愛読したクラークは、彼の前歴を知らず、彼をウォール街での案内役として利用価値があると思ったのだろう。

1880年秋、クラークが社長、ボスウェルが総務担当責任者としてスターグロウ銀山会社を設立し、十一月、会社の定款を各方面に配布した。それによると資本金は200万ドル、

額面価格10ドルの株を20万株発行する。ネバダ州にある鉱山は推定埋蔵量が50万ドル以上あり、これが配当金に当てられる。毎月2万ドルの配当金が確保され、年12パーセントの利益が見込まれる。社長クラークは「マサチューセッツで長年大学学長をはじめ、責任と信用のある公的地位を歴任してきた紳士」と紹介され、彼が将来「会社全般を自ら管理し、地味な投資家に着実な利益をもたらすべく経営する方針」だという。配当の最初の支払いは十一月末日の予定である。年末、彼はアマリスト

に帰り、鉱山の銀でつくった文鎮を見せて歩いた。



〈大井 玄略歴〉
一九三五年生まれ。
一九六三年東京大学医学部卒業。
東京大学名誉教授。
元国立環境研究所所長。
臨床医の立場を維持しながら国際保健、地域医療、終末期医療にかかわってきた。



フクロウ博士の チョット一言

是非是非

もともとの言葉は「是を是とし非を非とす、これを知と謂い、是を非とし非を是とす、これを愚と謂う」。是とは正しいこと、非とは間違っていること。是非善悪を正しく判断してこそ聡明といえるのだと説いている。是非を誤りなく判断する叡智を養うようたゆまざる学習を呼びかけているのである。

「荀子」修身(和田、市川編 中国の故事名言 徳間書店 2007)

● 野鳥図鑑 ●



【 センダイムシクイ 】

新緑の森の中から「チヨチヨジー」というさわやかな囀りが聞こえてくる。この声は、「鶴千代君」とか「焼酎一杯グイー」と聞きなされている。スズメより一回り小さな小鳥で夏鳥として東南アジアから渡ってくる。5月中旬、離島で渡り途中のこの鳥を見たがまったく囀らず、何か淋しい気がした。きっと渡りのためのエネルギーを補給しているのであろう。

撮影 日本野鳥の会 岐阜代表 大塚之稔